

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	城東区
学校名	鯰江小学校
学校長名	森元 貴子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・鯰江小学校では、第6学年 126名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率を全国平均と比較すると国語は1.4p上回ったが、算数は0.2p、理科は2.3下回る結果となった。平均無回答率は、すべての教科において全国平均より低く、最後まで諦めずに問題に取り組んだことが分かる。領域別に見ると、国語では、「話す・聞く」の領域だけが全国平均を下回っている。算数では、「変化と関係」だけが全国平均を上回り、それ以外の領域についてはわずかではあるが下回る結果となっている。理科についてはすべての領域で全国平均を下回る結果となった。児童質問紙の回答では、朝食の喫食率が高いことや規則正しい生活が送られていることから、家庭環境が安定していることが分かる。一方、ICT活用の定着や、コロナ禍で地域行事が開催されにくくなど、昨年に引き続き、環境変化による課題は強く

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 全体の平均正答率は全国平均を上回っているものの、低位層の児童が他教科より多くみられる。自分の考えをまとめる問題の正答率が低いことや、人物の相互関係をとらえる問題の無回答率が高いことから、苦手意識をもちあきらめてしまっている傾向があると考えられる。

〔算数〕 領域については特に正答率の低い分野はないが、問題の傾向をみると、「目的に合った」「目的に応じた」といったものや、意味や性質から構成要素を考察するものなど、知識の活用が必要とされる応用的な問題に課題がみられる。

〔理科〕 領域による偏りはなく、全体的に正答率が低い傾向となっているため、根本的な授業改善が必要である。実験や観察は好きな児童が多いにも関わらず、それらが知識の確実な習得に結び付いていない。

質問紙調査より

昨年度までに比べると、自尊感情に関わる部分や将来の目標や夢に関わることについては肯定的な回答が増えつつある。しかし、学校は楽しいと思うかという質問に対して否定的に答える児童が一定数いることから、集団全体としては特に問題がないようでも、個人としてみた場合には課題を抱えている児童がいることは明確である。ただし、一人一人の感じ方や考え方方が多様で複雑になってきているため、支援の仕方については難しいところもあるのが現状である。

今後の取組(アクションプラン)

学力に関しては、個別最適な学びと協働的な学びを一体として扱いながら、どう充実したものにしていくのかが鍵となる。その際、ICTの活用は必須であり、一人一台の学習者用端末をどのように活用していくことで、これら新しい時代に求められる教育を実現していくのかを実践レベルで探っていく必要がある。これまでの知識・技能中心の学習から、思考力や学びに向かう力をどう育成していくのかということを前提に授業づくりを進めていくことが大切である。新しい教育の推進については、保護者の理解も必要となるため、校長が中心となり学校全体で取り組んでいく体制づくりが必要である。

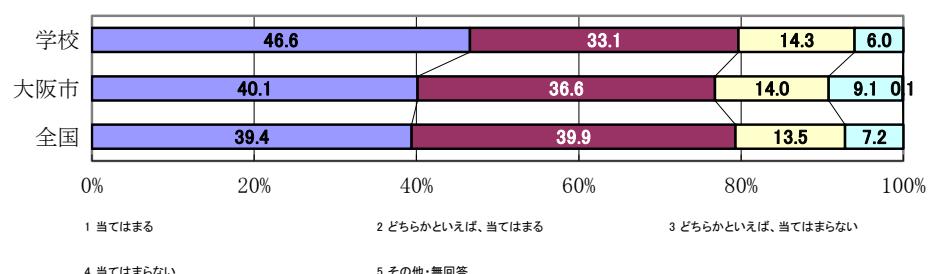
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

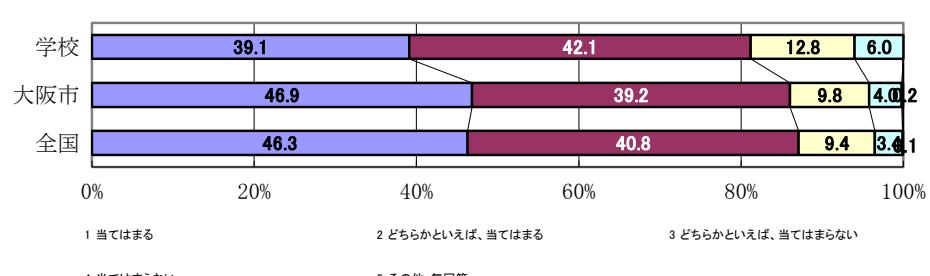
7

自分には、よいところがあると思いますか



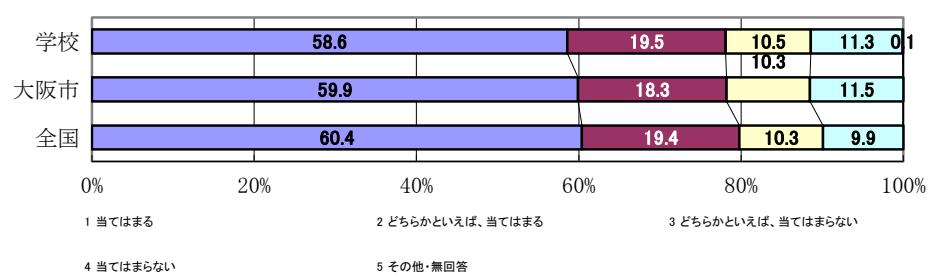
8

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



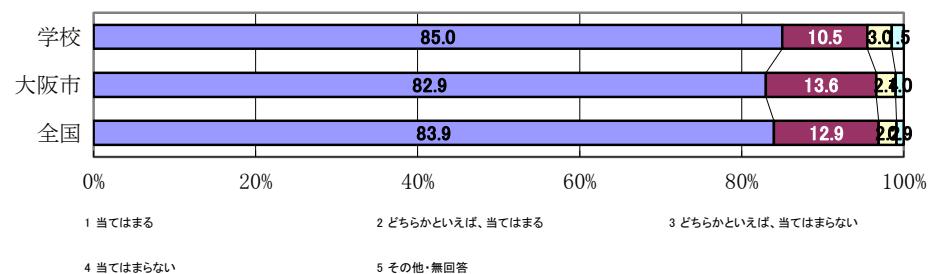
9

将来の夢や目標を持っていますか



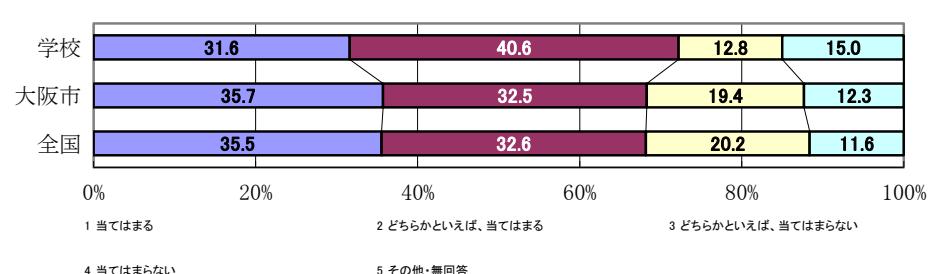
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



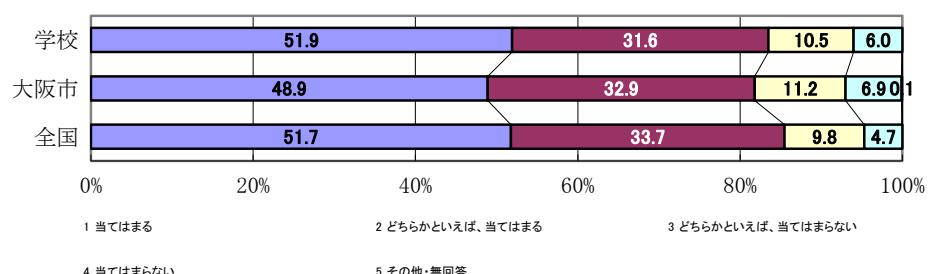
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

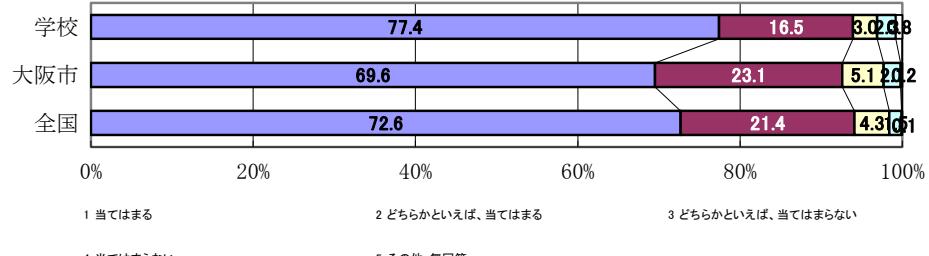
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



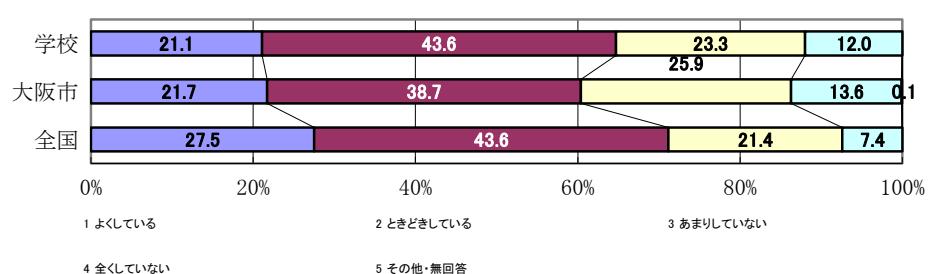
18

友達と協力するのは楽しいと思いますか



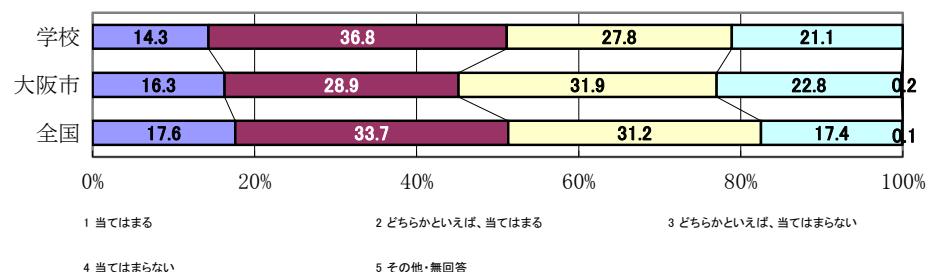
20

家で自分で計画を立て勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



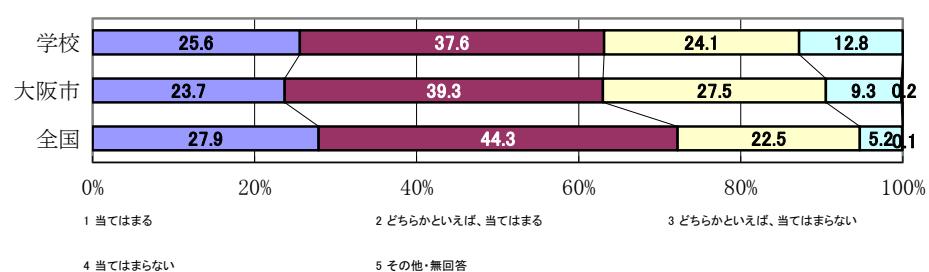
30

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えことがありますか



40

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



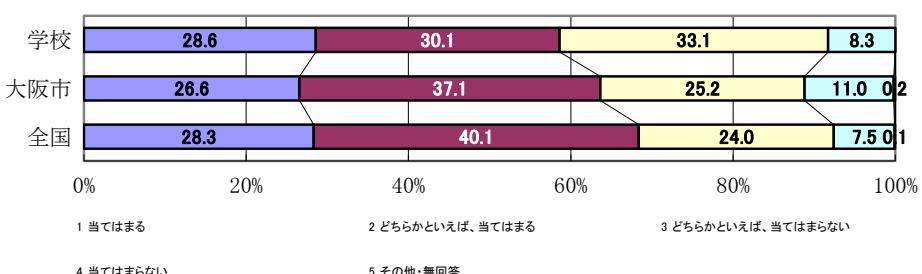
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

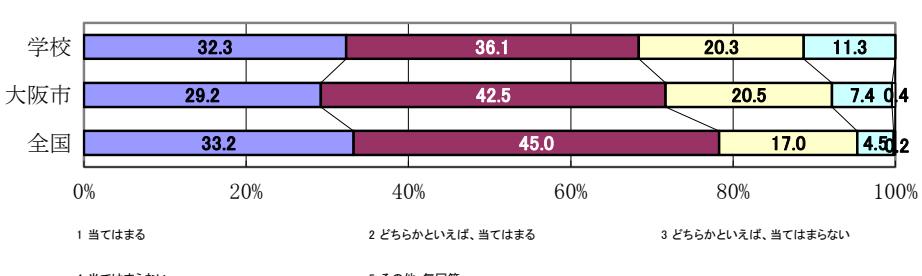
41

5年生までに受けた授業では、自分の思いや考え方をもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか



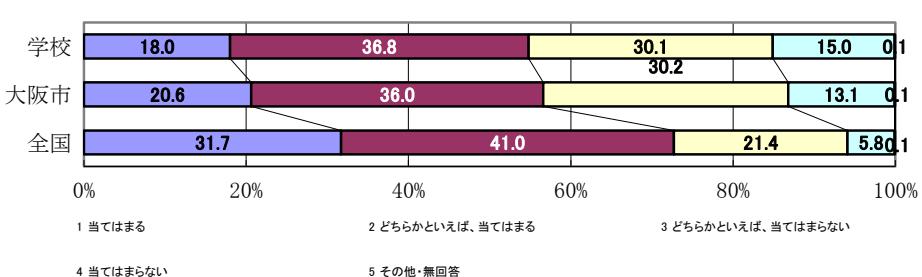
44

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかつた点を見直し、次の学習につなげることができますか



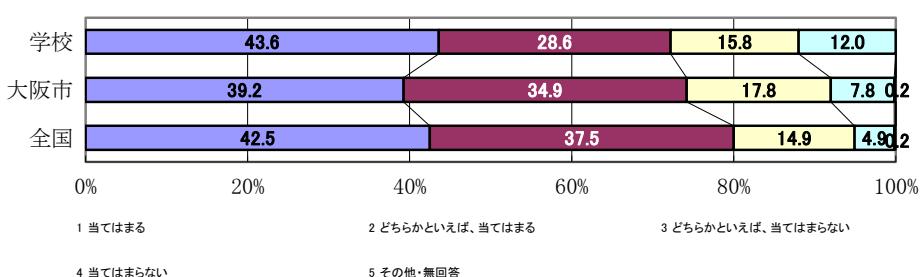
45

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



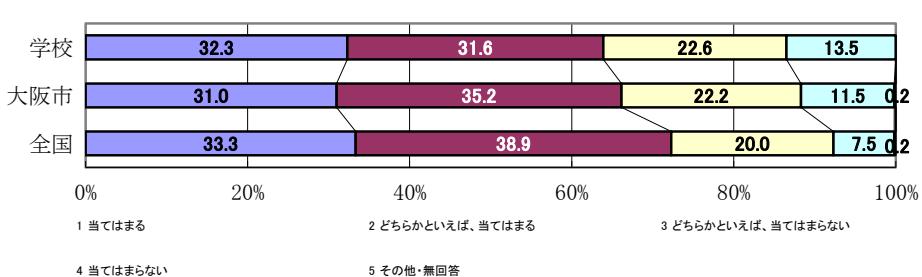
48

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話しあったりする活動に取り組んでいますか



69

理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方方が間違っていないかを振り返って考えていましたか

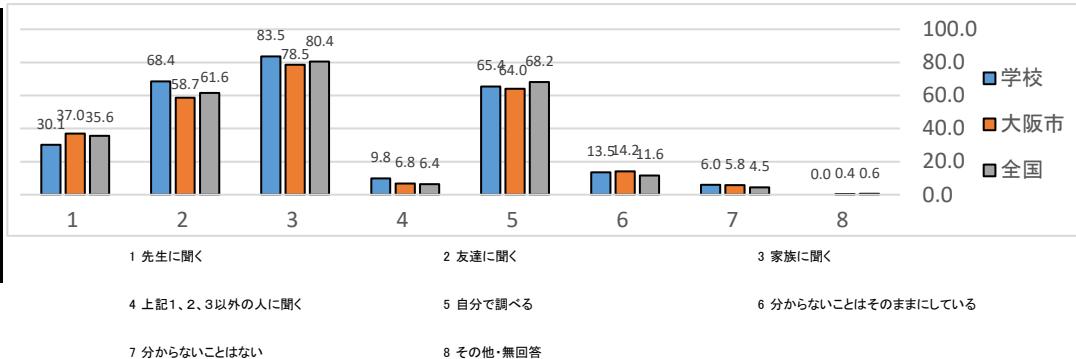


児童質問紙より

質問番号
質問事項

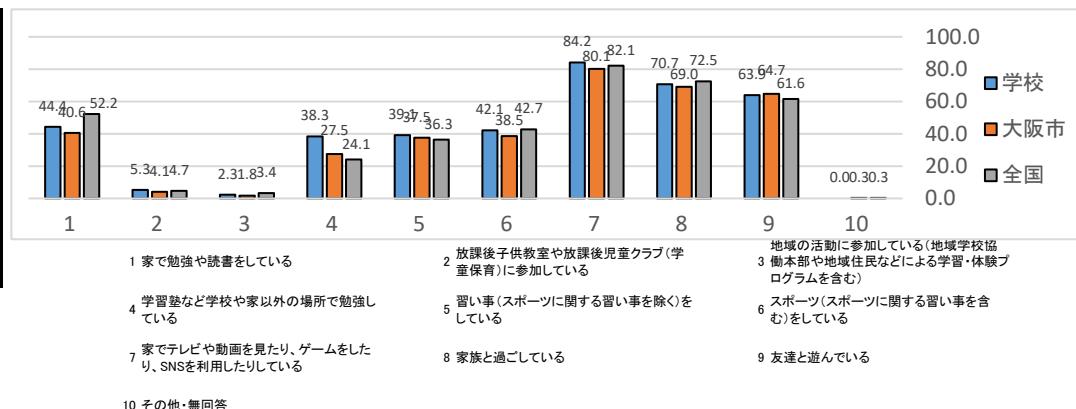
19

家で学校からの課題で分から
ないことがあったとき、どのよう
にしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ご
すことが多いですか(複数選
択)



学校質問紙より

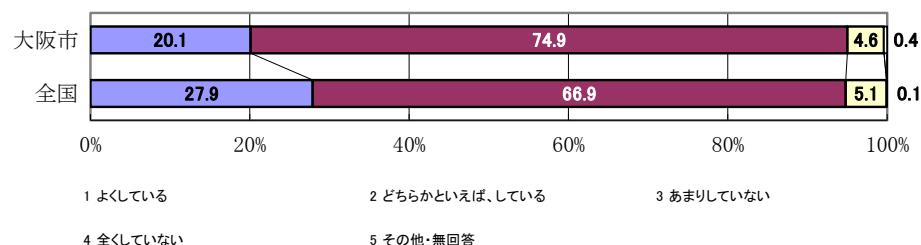
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

16

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

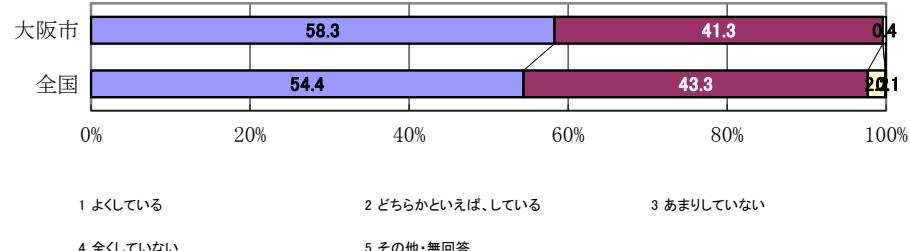
学校 「どちらかといえば、している」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

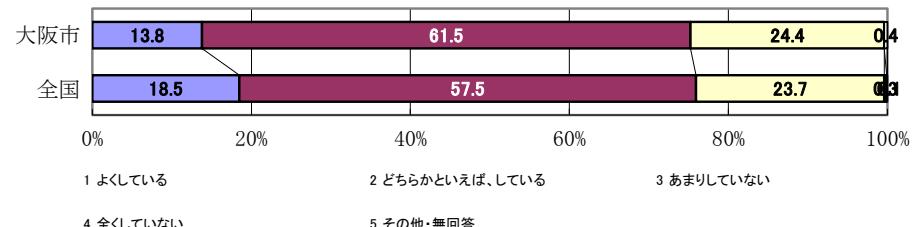
学校 「よくしている」を選択



21

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

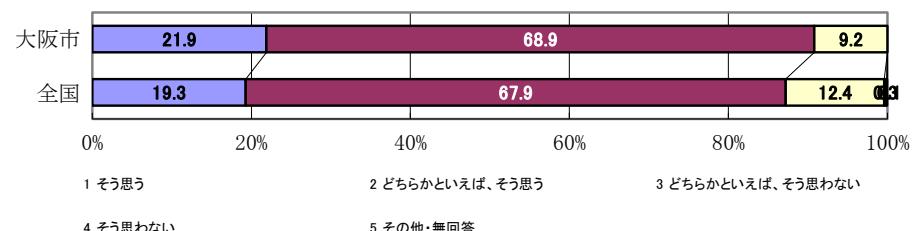
学校 「どちらかといえば、している」を選択



23

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

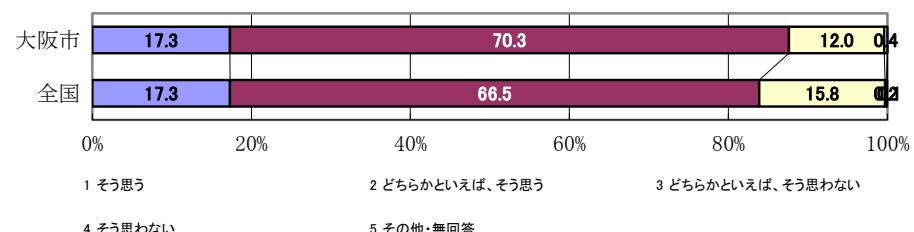
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



学校質問紙より

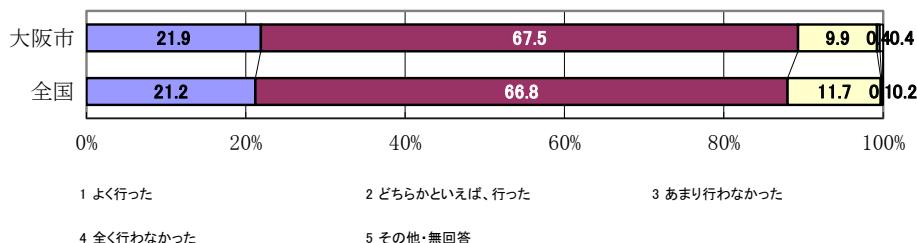
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

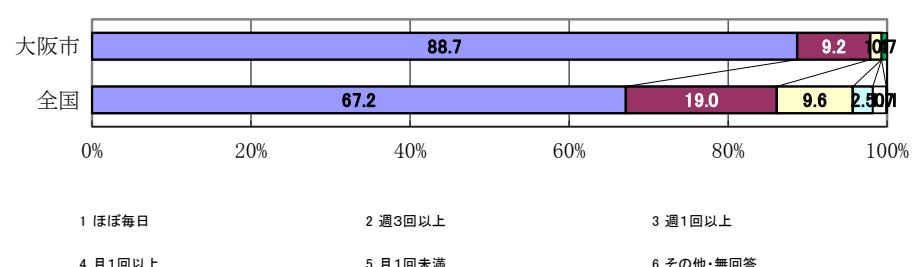
学校 「あまり行わなかった」を選択



56

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

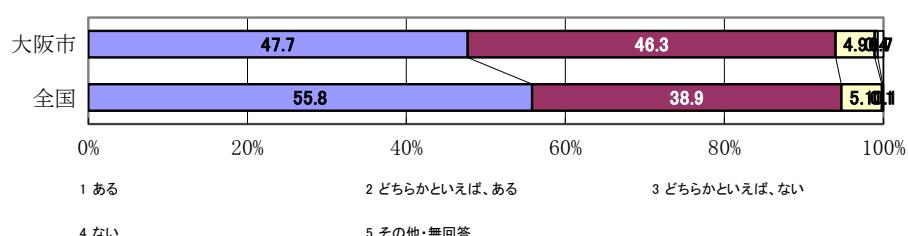
学校 「ほぼ毎日」を選択



57

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

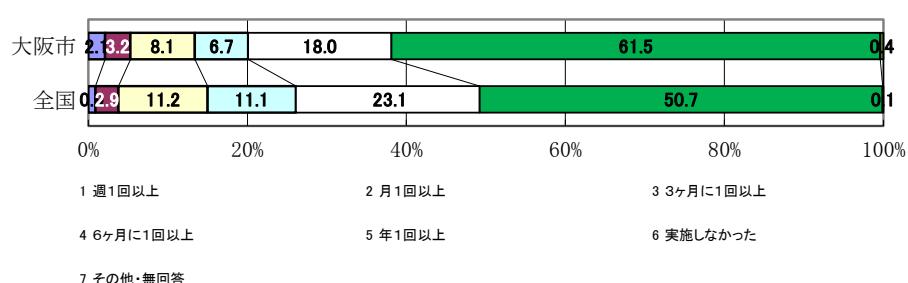
学校 「どちらかといえば、ある」を選択



64

前年度に、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか

学校 「実施しなかった」を選択



75

地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを生かして、(74)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか

学校 「あまり行わなかった」を選択

